

「群馬県一大きな笠懸小学校は思いやりも群馬県一」を目指します！



みどり市立笠懸小学校  
学校だより No.10  
2021.1.12

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 明けましておめでとうございます！



初日から明るく元気な6年女子たち！

いよいよ3学期がスタートしました。7日の朝は、大きな荷物を持った子どもたちが、元

気にあいさつをしてくれ、気持ちよく新学期を迎えることができました。

首都圏の緊急事態宣言や7日の感染者数の増加により、群馬県でも予断を許さない状況となりました。笠小では、県や市の感染症対策マニュアルに沿って「感染症対策をしっかりと行い、できる活動は可能な限り行う」方針に変わりはなく、粛々と学習活動を行っていきます。しかし、状況によっては、躊躇なく中止や延期の判断をしていきます。

3学期は、大きな行事がたくさん予定されています。書き初め展、授業参観、6年生を送る会、6年生感謝の集い、そして卒業式。現時点においては、いずれも通常どおりにできないことは明らかです。すでにご案内したとおり、授業参観は中止せざるを得ません。時間を区切って参観者を入れ替えながら行う学校もありますが、本校では駐車場や校舎など施設面の問題、学校規模により安全確保は難しい状況です。また、6年生を送る会についても体育館に集まって合唱や合奏をすることはできませんし、卒業式も昨年と同様に来賓や入場者を制限して行うより方法は見当たらないと思います。市内の学校とは、可能な限り同一歩調で進めますが、そろえられない部分があることは予めご承知おきください。

子どもたちは、今日も対策を行いながら狭い教室で授業を行い、マスクを取って給食を食べ、休み時間には友だちと語り合うという学校生活をしています。今後予定されている、学年を3グループに分けて実施する4年「織物工場見学」、広い会場で距離を保って実施する5年「命を育む授業」、屋外で行う避難訓練などは、現段階では普段の学校生活を基準として判断し、実施する予定です。

## 3学期始業式での校長あいさつ

楽しい時間

はあっという

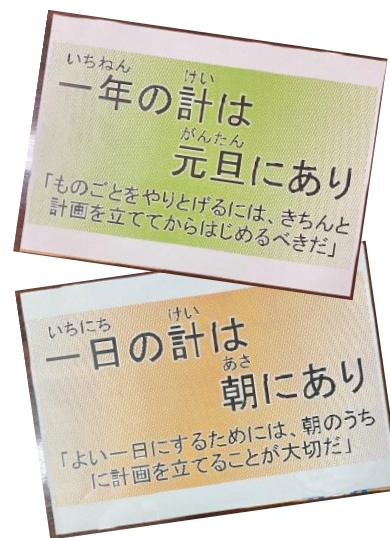
間に過ぎてしまうもので、この冬休みはほんの一瞬のうちに終わってしまったように感じています。みなさんはいかがですか？

さて、1月にちなみ、お正月にまつわる「ことわざ」を紹介します。「一年の計は元旦にあり」は、「一年の計画は元旦に立てるものだ」というだけでなく、「ものごとをやりとげるには、きちんと計画をたててからはじめるべきだ」という教訓です。今年は初詣に行けなかった人も多いと思いますが、お賽銭をあげて、手を合わせ、大切な願い事をするのは、これに近いですね。

今日は各クラスで取り組むと思いますが、3学期の目標づくりの活動はとても大切です。しっかりと考えて欲しいと思います。そして、3学期の終わりにしっかりと振り返りましょう。きちんと計画が立てられた人は、目標が達成できるのではないかと思います。

それともう一つ。「一年の計は元旦にあり」に似た言葉で、「一日の計は朝にあり」という「ことわざ」があります。これは、「よい一日にするためには、朝のうちにしっかりと計画を立てることが大切だ」という意味です。みなさんは「朝の会」で「今日のめあて」を確認していると思いますが、目標をもって一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。それを毎日続けることができれば、「365日分の差は大きい」です。

それでは、「まとめの3学期」も感染症対策をしっかりと、明るく元気に乗り切っていきましょう。いつでもマスク、いつでも手洗い、いつでもディスタンス、そしていつでも換気！



\*今回は表面のみの印刷です。